

「高萩市創生」スタート

人口急減・超高齢化という大きな課題に対し、早急かつ持続的に対応することを目的に、国においては「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を打ち出しました。

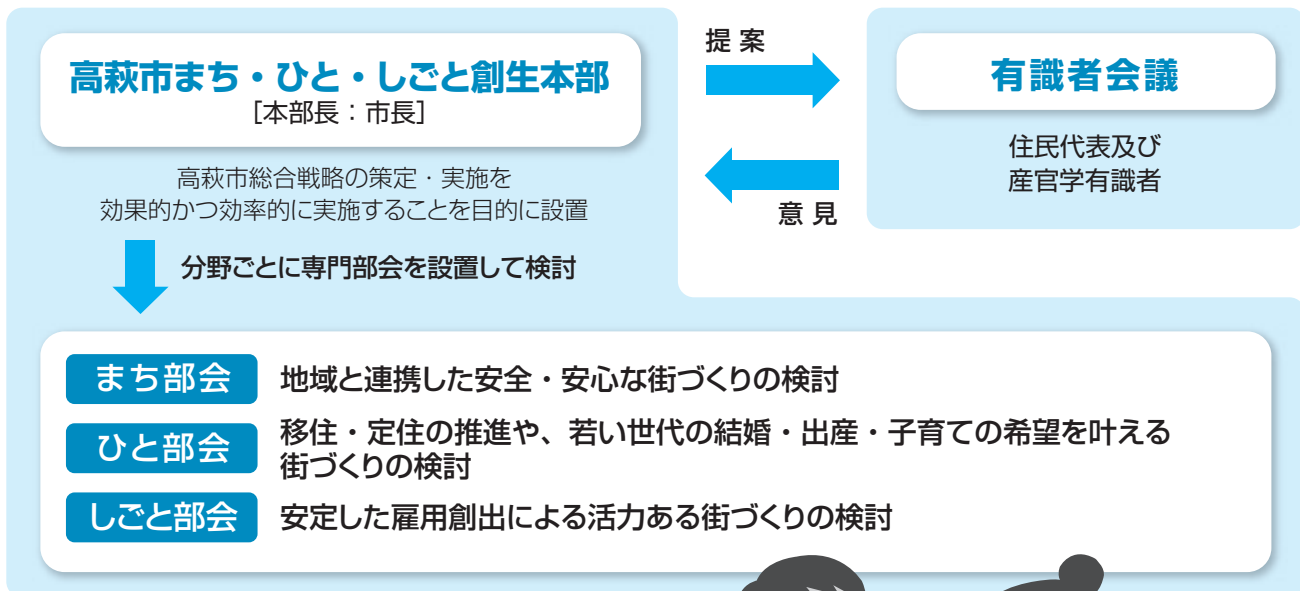
この政策に合わせ、高萩市では、今年4月から総務省より地方創生政策担当部長として職員を招き、「高萩市版人口ビジョン及び総合戦略」の策定に向けた検討を開始。総合戦略には、今後5年間の雇用創出や人口減少・少子化対策、安全安心な街づくりにつながる施策が反映される予定で、高萩市政にとって重要なものになります。

今月号では、「高萩市創生」への取り組みがスタートされたことをご知らせし、どのような体制で検討されているかをご紹介します。



まち・ひと・しごと創生本部会議

<市の組織体制>



<事業化までの流れ>



※結婚・出産・子育てなどに関する事業は、H27年度当初より地方創生先行型事業として取り組み始めています。

- ・新婚世帯支援事業
- ・健康・子育て安心ダイヤル
- ・出産祝品購入費助成
- ・特定不妊治療費助成
- ・ハッピーサポート事業





4 上君田で地域シンボル“宮澤桜”を守る「桜賞会」の設立式典

上君田生活改善センター敷地内にある大樹「宮澤桜」を守ろうと、地域の方を中心に発足した「桜賞会」の設立記念式典が行われました。



宮澤桜は、樹齢約250年、樹高約15m、幹回り約5mと風格ある山桜。旧上君田小学校時代から子どもたちに愛され、地域集落を見守ってきました。

近年、樹木の痛みがひどいことから、同校卒業生からなる12人で会を発足。地域の方々や県外にいる出身者の方など100人を超える賛同を得て、桜賞会の設立に至りました。

会の代表である豊田守さんは、「会員となってくれた多数の皆さんのおかげで整備ができた。上君田の景観保持のために取り組んでいきたい。」との想いを語られました。

設立総会後は、後世代となる山桜の記念植樹も行われました。



桜賞会会員の皆さん

※市補助金「アイラブ高萩・まちづくり支援金(団体育成事業)」が活用されています。

4 防火対象物に係る表示マーク交付式

高萩市消防本部にて、高萩ホテルクレストへの「防火対象物に係る表示マーク交付式」が行われました。



石健太郎専務(写真左)と齋藤消防長

この制度は、ホテルや旅館関係者等からの申請に基づき、消防機関が内容を審査し、消防法令や建築基準法令に定められた防火基準に適合している場合に表示マークを交付する制度です。表示マークを建物やホームページに掲出し、利用者へ建物の防火安全に関する情報提供をしています。

5 花貫ふるさと自然公園センターで「手打ちそば」を堪能

秋山北方地区の皆さんを中心に組織する「北方蕎麦の会(代表: 棚谷稔)」が、花貫ふるさと自然公園センターで「春の新緑そば祭り」を開催しました。



このイベントは、毎年恒例で開催され、高萩産の常陸秋蕎麦100%のそば粉を使い、「挽きたて・打ちたて・茹でたて」にこだわり、冷たくても温かくても美味しい手打ち蕎麦を提供。2日間で約530食が提供されました。



また、地元産の野菜や取れたての山菜を使った天ぷらも販売。揚げたての天ぷらを添えた手打ち蕎麦は、ご賞味された皆さんの舌を唸らせていました。

5 都内大学の留学生29人と国際交流の集い



都内の大学に通う外国人留学生と市民が交流する「国際交流の集い」が開催されました。市内の各家庭でのホームステイを通して、お互いの文化の理解を深めてもらおうと開催しているもので、今回で41回目。アメリカや中国、オーストラリアなど11か国から29人が参加。ホストファミリー宅での宿泊体験や、松岡地区公民館での茶道やお琴など、日本文化の触れ合いや市民との交流を深めました。

5 “春の全国交通安全運動” 街頭キャンペーン

春の全国交通安全運動が5月11日から20日までの10日間行われました。運動初日には、警察や交通安全協会、交通安全母の会など関係者約50



人により、安良川南交差点で街頭キャンペーンを実施。信号待ちのドライバーにチラシ等を配布しながら交通事故防止への呼びかけを行いました。